

“いま、熊本震災から学ぶ災害看護”

日時：2017年12月17日（日）10時～16時 会場：久留米大学筑水会館2階 イベントホール

被災時の活動体験報告から、認定看護師として何を経験し、どのような支援が必要であったのかを学び「これからできる“減災”に向けての取り組み」について一緒に考えていきましょう。
がん看護に携わる看護師の交流の場に参加してみませんか。

〔シンポジウム1〕被災体験と看護体験から見えてきたもの –がん看護の立場から–

座長：三橋睦子（久留米大学認定看護師教育センター）

◇ 都道府県がん診療連携拠点病院のがん看護専門看護師の役割

岡本 泰子 熊本大学医学部附属病院（がん看護 CNS・がん化学療法看護 CN）

◇ 熊本震災時がん化学療法看護認定看護師は何をしたのか

野中 由美子 熊本中央病院（がん化学療法看護 CN）

◇ 災害看護で見えてきたもの

緒方 みか 熊本市民病院所属 国立病院機構熊本医療センター勤務（緩和ケア CN）

◇ 熊本地震での経験 –放射線治療室の状況と課題–

桑原 珠世 熊本赤十字病院（がん放射線療法看護 CN）

〔シンポジウム2〕認定看護師としてこれからの災害看護について考える

–他分野の活動も参考に–

座長：岡本 泰子・三橋 睦子

◇ 熊本地震における災害看護–皮膚・排泄ケア認定看護師の視点から–

山形 朝子 済生会熊本病院（皮膚・排泄ケア CN）

◇ 熊本震災における熊本県感染管理ネットワークの活動報告

藤本 陽子 熊本大学医学部附属病院（感染管理 CN）

◇ 全体討議

◎対象：すべての看護師（認定看護師以外の方もご参加ください）

※本研修は認定看護師自己研鑽ポイントになります

◎会費：2,000円（当日会場でいただきます）

◎募集人数：約300名

◎申込方法・詳しい内容：当センターホームページ、研修会案内からお申込みください

◎募集期間：2017年11月13日（月）～11月30日（木）※定員になり次第募集終了

◎問合せ先：Email cn_nintei@kurume-u.ac.jp TEL 0942317871

※申込後5日以内に受付メールが届かない場合は、お問い合わせください。

皆さまのご参加を心からお待ちしております